

【表6】

No	エピソード	コード1
513	第5回活動の記録	
514	2001/12/18 於：なぎさふれあいセンター	
564	O N...近くの人に面倒をみてもらえるのが一番だが。	
565	M Y...だけど、他人が家に入るのは、本当に嫌だという人がいる。	
566	H Y...信頼関係ができるまでには、時間かかるから。	他人が家に入ることの抵抗感への対策の必要性 信頼関係を構築することに要する時間
567	U...いったん信頼関係ができると、電球の替えまでヘルパーがやったりする。	
568	M Y...ヘルパーも、同じ人がずっとやるようになってしまつ。ヘルパーも少し冷たいくらいがよい。	ヘルパーなどへの過剰な期待・依存
569	H Y...高齢化社会の中では、いかに割り切って、ヘルパーを使っていくかが、大変かもしれない。	
570	U...気になるのは、すべて地域でやっちゃうと、遠くの家族を呼ばなくなるかもしれない。それもまた問題。	親族との関係阻害への配慮
571	H Y...でも、いざというときに、頼りになるのは、遠くの親戚より、近くの他人だと思う。	
572	K O...ふれあい援助員も、草むしりをしてほしいといわれて行っても、実は話しだ相手がほしかっただけということがあった。	依頼目的以外に潜む本来目的（話相手など）
573	H Y...話相手がほしいと頼めばいいのにね。それが、恥ずかしいことではない、と言ってあげないと。	
574	U...でも年寄りの気持ちは違うかもしれない。	
575	O N...自分の育った時代の感覚が染み付いているんだな。	援助を受けることへの抵抗感の世代間相違
576	U...私たちが年取ったら、連ってくる。	
577	O N...明治生まれと、大正生まれで大分違うしね。	
578	U...「民生委員に世話になるのは、絶対嫌だ」という人がいる。	
579	M Y...頑固な人を、溶かしてあけるボランティアが必要だ。	頑固に拒否する人を“溶かす”ボランティアの必要性
580	H Y...いろいろなボランティア活動が、ちょこちょこ沢山あればよい。	ボランティア概念の広がり・多様性への認識
581	K O...廻船とか土屋とか、市の北の方は、独居老人が少ない。花水は、そこに比べるとかなり多い。	独居高齢者などの地域偏在
582	M Y...そういう地域は、家族の負担にはなるけど、暖かいかもしれない。	伝統的多世代世帯の多い地域と独居高齢者の多い地域
583	O N...あの地域は、昔のスタイルだね。	
584	M Y...花水では、だからこそ、こういう福祉コミュニティづくりが必要。	
585	H Y...家族だけでなく、隣近所も、無関心という話もよく聞く。昔の常識は通用しない。	
586	K O...でも、独居老人も、敬老金などを渡しに行っても、うんともすんとも言わないことがある。	
587	M Y...向うがやだというのはしかたがない。最後まで、一人で済むのならば、それはそれで良いのだろうけど。	高齢者側の拒否感への対処
588	H Y...一切拒否して、餓死した人がいたわね。	
589	M Y...好き嫌いという言い方があるけど、50歳ぐらいまでかもしれない。	
590	O N...若者の願望かもしれないね、まれにはいるけど。	
591	K O...かわいがられる老人にならないといけないわ。	どう歳を取るか（自らの問題としての認識）=受け入れられる歳の取り方
592	M Y...現役を退いて、引きもこっちゃう人は、難しいかも。	引退=引きこもりの弊害
593	K O...敬老会とかに出てくる人はいいんだけどね。	
594	H Y...地区レクにしても、10年、同じ形でやってるけど、老人も進化しているのではないか。	高齢者も時代とともに変化するという認識
595	K O...参加者は増えてるけどね。ただ、お弁当もらうと、帰っちゃう。	
596	H Y...その弁当に、ちらしを挟み込むとかするといいかもしれない。	
597		
598	U...やっぱり、お年寄りが集まる場所がほしいわね。	
599	O N...井戸端会議もなくなったしな。	井戸端会議などコミュニケーションの場の不足
600	H Y...集まっているのは、医者の待合室ぐらいかな。	病院待合室の高齢者
601	K O...接骨院とか。	
602	M Y...お医者さんの方も、さりげなく病気は自分のせいだと言ってくれたりするところはいい。	
603	U...家族や近所があんどうをみなくなつたのは、我慢が足りなくなってきたという、風潮があるかも知れない。	忍耐力の低下
604	M Y...犠牲をしなくなった。	
605	K O...仕方ないなと思うところはあるけど、あたりまえのこととしてやってほしいところはある。	損得勘定
606	M Y...親の面倒をるのは、摸という考え方をしてしまう。兄弟は同母なのに、なぜ私だけ摸するのかという議論。そこで、公が、どの程度まで、肩代わり	親の面倒をみない子世代
607	H Y...そういう現状の中で、地域でどれだけステップアップすることができるかが、私たちの課題である。	
608	M Y...世話をしたりたくない、世話をしたくない、という考えをどう変えていくか。	“世話になりたくない、したくない”をどれだけ変えていくか
609	U...町内福祉村を、なんとか充実させたいね。	
610	M Y...町内福祉村は、発想はいいからね。	
611	でも、世話をしても、ひどいなあ、と思う人はいる。その本人に問題がやっぱりある。そういう人は、公でやってもららしかない。	被援助者側に問題のあるケース
612	H Y...活動するときは、対象者を限定した方がいいのかしら。	対象者限定が必要？
613	K O...民生委員の立場からは、晩間独居の老人が、隙間になっているので、そのあたりかな。	日中独居の問題=ニーズの潜在化
614	H Y...花水で特色のある、そういう方に注目するのが良いかもしれない。	
615	M Y...そうね。晩間独居の人は、介護保険を受けていない人が多いし。	
616	H Y...むしろ、申請していない人が多いかもしれない。	日中独居と介護保険の申請率
617	O N...富士白苑では、民生委員の仲介が必要と言っていた。マップには民生委員を書き込む必要がある。	民生委員の役割の重要性
618	K O...それは、是非必要。	制度に関する情報提供の重要性
619	H Y...あと、介護保険を知ってもらうような情報提供。	制度未利用者への関心
620	M Y...申請していない人が多いからね。	高齢者の制度への否定的認識
621	H Y...老人同士の話しで、申請してもしょうがないと話しているようだ。	
622	O N...日本での介護保険導入前に、ドイツでの認定率が低いということがざんざん報道されたので、その先入観があるのかもしれない。	高齢者の誤解・先入観
623		